



# に し が わ 機 会 だ よ り

睦合小学校  
学童相撲70周年記念大会  
(10ページ参照)

**65**

2008.7.15

6月定例議会	2~3
一般質問	4~7
議会のうごき	8~9
「究める・人」シリーズ No.5 さくらんぼ栽培	10

# 第2回 6月定例議会

## 第2回 6月定例会で 議決された議案

人事案 1件  
 条例案 5件  
 補正予算案 4件  
 報告事件 3件



### 人事案

◎人権擁護委員(※1)  
 候補者の推薦(全員賛成)

佐藤美智子さん(海味)

### 条例案

◎町税条例の一部改正  
 (賛成7人、反対1人)

地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、町長が専決処分(※2)したのを承認しました。

平成20年度の税制改正に伴う改正で、主なものは、寄附金税制の拡充、金融証券税制の見直し、公的年金からの特別徴収制度の導入です。

◎ふるさとづくり寄附条例の設定(全員賛成)

本町の教育文化振興と結婚子育て環境整備等の特色あるまちづくりや、拠点地形成等の都市と地方の格差の解消に関する事業等に対

し、町外の方々から寄附金を募り、寄附された方のふるさとを守り育てる思いを反映し、個性豊かで活力あるまちづくりをするための条例を設定しました。

◎開発センター条例の一部改正(全員賛成)

開発センターの改修工事に伴い、会議室等の名称を変更しました。

また、愛称を「西川交流センター あいべ」と決定し、7月12日にリニューアルオープン記念式典が執り行われました。



リニューアルした開発センター  
 (愛称：西川交流センター あいべ)

◎国民健康保険条例の一部改正(賛成7人、反対1人)

後期高齢者医療制度の支援金等を定めた地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、規定を整備しました。

◎児童館設置条例の一部改正(全員賛成)

岩根沢児童館(昭和58年度建設)を廃止しました。今後、施設及び土地を処分する予定です。

### 補正予算案

◎一般会計補正予算(第1号)(全員賛成)

537万2千円を追加し、歳入歳出予算総額は、49億1737万2千円となりました。

#### 主な内容

◆国民裁判員制度(平成21年5月から施行)に対応す

るためのシステム改修委託料 57万8千円

◆ふるさとづくり基金積立金 50万円

◆老人保健特別会計繰出金 10万9千円

◆間伐実施推進事業補助金(睦合・長登山地内) 159万円

◆落雪(町道田の下線)による車両破損損害賠償金 14万3千円

◆消火栓移転費(上間沢地内) 39万3千円

◆睦合小学校児童相撲大会70周年記念事業報奨金 20万円

◆西山及び沼山小学校、西川中学校の施設修繕料 84万5千円



# ふるさとを守り育む ふるさとづくり寄附条例を可決

町外の方から寄附金を募り  
特色あるまちづくりや都市と地方の格差解消事業を展開

◎老人保健特別会計補正予算(第1号)(全員賛成)

10万9千円を追加し、歳入歳出予算総額は、789万1千円となりました。

### 主な内容

社会保険診療報酬支払基金事務費交付金の精算に伴う返還金

◎簡易水道特別会計補正予算(第1号)(全員賛成)

223万6千円を追加し、歳入歳出予算総額は、2643万4千円となりました。

### 主な内容

◆大井沢低区流量計更新工事費

140万円

◆漏水探知器等備品購入費

83万6千円

◎水道事業会計補正予算(第1号)(全員賛成)

(収益的収支予算)

39万3千円を追加し、収支予定額は、1億3519万6千円となりました。

### 主な内容

消火栓移転補償工事費

(資本的収支予算)

水道管理センターの事務室改築費747万円を追加

## 報告

◎平成19年度一般会計継続費繰越計算書

平成19年度及び20年度の2か年事業で実施してきた開発センター改修工事の予算について、総額4億8200万円のうち1808万1千円を平成20年度に繰り越しました。

◎第17期西川町総合開発株式会社の経営状況

第17期(平成19年4月1日～20年3月31日)の売上高は5億9344万円の前

期比2.2%減、経常損失は1409万円、税引き後の純損失は1438万円。

天候不順による来店者数の減少と、それを補う積極的な営業努力の不足により売上高が減少しました。一方、販売費及び一般管理費については、人件費等の一般的な削減は進みましたが下期における食材・包装・燃料費の高騰等で全体的に諸経費の削減が進捗せず、経常損失を計上しました。

◎第2期(株)米月山の経営状況

白い発芽胚芽米 月山まんなの製造販売初年度の第2期(平成19年4月1日～20年3月31日)の売上高は3283万円、経常損失及び税引き後の純損失は1088万円。

商品の認知度がまだ高まっていないことや初期投資により経常損失を計上しました。

### 用語の説明

※1 人権擁護委員

町長が推薦した方の中から法務大臣が委嘱します。住民の自由・平等の権利が侵犯されることのないように監視し、もし侵犯された場合には、その救済のため、すみやかに適切な処置をとるとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めることを使命としています。

※2 専決処分

町の条例や予算を定めるためには議会の議決が必要ですが、町長が議会を招集する暇がないと認めるときなどに、町長は議決すべき条例や予算を専決することができます。ただし、その場合に町長は、次の会議において議会に報告し、その承認を求める必要があります。

## 四川大地震情報を検証して 統合小学校建設地の変更を

町長…用地の見直しは一切考えていない



寒河江ダム



池上博 議員

**ダムのある町として四川大地震をどう捉えるか**

中国屈指の巨大ダムに幅50cmの大亀裂が数十mにわたって発生するなど1800のダムに危険性が生じ、また、貯水量2億<sup>3</sup>m<sup>3</sup>の土砂ダムが発生し下流域の25万人が高台に避難するなど、震天動地で悲惨な状況をどう捉えますか。

マスコミ報道によれば、まさに未曾有の災害と受け

止めています。寒河江ダムは、阪神淡路大震災クラスにも十分に耐えられる強度を有していると聞いています。もちろん災害に対しては常に万全を期さなければならぬものであり、今回の教訓をもとに必要に応じて国の改善策等に活かされるものと考えています。

**寒河江ダムの貯水量は**

両岸の土砂崩れ等で貯水量が減少していませんか。

最上川ダム統合管理事務所から聞いたところでは、貯水量は上流域より流入する水量とダムからの放水量によって調整を行っており、当初の貯水量は確保されています。

**統合小学校建設地の変更を**

ダムの安全性が絶対でないことは四川大地震で明らかです。我が国でも原発の安全値等の見直しを始めま

した。町民の過半数の声を尊重し、統合小学校を一段高い所に建設すべきでは。

寒河江ダムは、阪神淡路大震災クラスの大震災に十分耐えられる強度を有しており、四川省の実態は正確にはわかりませんが、四川省と同様の事態と即受け止めることは、あまりにもせつ過ぎるかと考えています。したがって、これまでも十分説明し、議会においても議決いただいた建設用地であり、見直しは一切

考えていません。

**既存の学校施設の耐震化を早急に**

国では補助率を3分の2に引き上げました。本町でも万全の配慮をすべきでは。既存校舎の耐震化を行う必要があることを踏まえ一校新築を行うもので、既存校舎の耐震化は考えていません。



にしかわ保育園の園児

## 吉川地区の用排水路整備に伴う 水不足解消と臭い対策は

町長…排水路計画策定にあたり土地改良区や関係者と十分協議し推進する



松田昌一 議員

吉川地区では、山が浅いため水田の水不足で苦勞し、多くの堤を造り笹島堰、吉川堰を通して間に合わせてきた歴史があります。今年は、東北電力(株)の用水路からの分水量が不足し、坂ノ上地区の水が不足しました。それらを踏まえ、用排水路の整備については、水系を調査し水利既得権を含めた整備を期待していますが、事業の進め方は、

### 水田用水の確保について



前堤 (吉川地区)

公共下水道区域の見直しにあたり、吉川地区内の排水路を整備するために本年度の当初予算に調査費を計上しています。排水路整備の際にその水路に流す水の確保については、現在、土地改良区が農業用水として使用している水から分水して流すことで協議しています。東北電力(株)の吉川発電用水路から吉川地区内の農業用水の取水については、歴史的な経緯の中で行われているものであり、今後、排水路計画策定にあたっては、土地改良区をはじめ関係者のみなさんと十分協議し推進します。

### 排水路の臭い対策について

世界的に水不足が進んでいる中で、水源の町である本町では、水不足を解消し、臭いのない排水路を整備して、若者が住みやすい住環境整備を図るべきです。

寒河江川が町の中央を流れ、集落自体が河岸段丘に形成されていますので、水源の町とは言いつつも、全集落の中を豊富に水が流れているということではありません。地域の沢々から取水し、しかも長い距離の水路を整備し利用しているのが現状です。水利権等の問

題もありますが、これまで同様、土地改良区や各地域の水利組合の理解や協力をお願いし、また町でも小規模水路事業や水利確保のために支援していくことだと捉えています。幸い豊かな森林や積雪が本町の水を支えていると考えています。



吉川地区の水田

## 定住人口の維持確保策は 統合小学校建設と宅地造成のみか

町長…町内すべての地域の維持確保には拠点地づくりが必要



渋谷 雄三郎 議員



町営住宅（海味地区）

町の核となる拠点地の形成のみでよいのか

5年間で約40億円を投入する統合小学校建設と宅地造成のみで、すべての町民が「住みたい」と思う条件整備が可能なのでしょうか。また、財政計画に無理はないのですか。

町内のすべての地域において定住人口を維持確保していくことを前提にしながらも、やはり拠点地の形成

も必要であるという考えであり、決して拠点地の形成だけで、定住人口の維持確保ができるとは考えていません。また、厳しい財政状況ではありますが、的確な財政運営を行いながら必要な施策を進めていきます。

子育て施策に必要な経費は

中学校卒業までの医療費無料化や保育料の軽減、町営アパートの建設等「子育てするなら西川町で」と言われるような施策が必要と考えますが、必要な経費は

体系的に充実してきています。保育料は他市町と比較しても高くはなく、運営費の約3割で、現在の料金は理解いただけると考えています。小学校就学前の方の医療費は、無料化しており、町負担額は平成19年度で401万1千円。中学生まで無料化した場合は、さらに856万8千円かかります。

地域支援職員派遣  
事業の到達点は

「元気のある地域づくり」の一点で進めるべきでは。

そのために派遣しているつもりです。各地域との話し合いによって進めていますので、一概に同一歩調とはいかない面がありますが、職員に対しては本年度、各地域の地域力の把握、町からの情報の伝達とともに地域の情報の把握等を進めるよう指示しています。

農業振興策について

コメに対する直接補助や農家の負担がない水田畑地化が必要なのは。また、白い発芽胚芽米 月山まんま製造販売の見通しは。

コメに対する直接補助は、考えていません。また、水田畑地化の受益者負担は、必要と考えています。月山まんまについては、数値目標を掲げ関係機関一丸となって進めていきます。



白い発芽胚芽米 月山まんま

## 鉄塔の安全性を確保しているか

### 町長…通常の風雪で倒壊の危険性はない

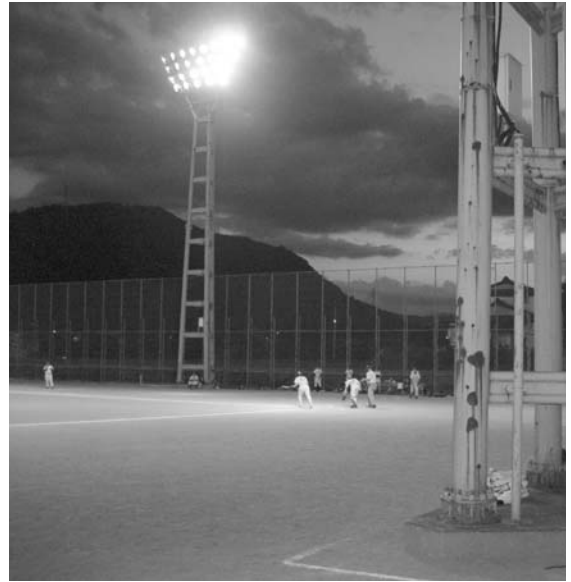


古澤 俊一 議員

町内には、37基の警鐘台があります。屋根の部分が相当傷んでいるのが2基ありますので、修繕する必要があります。そのほかについては、通常の風雪で倒壊の危険性はないと認識しています。

町の管理下にある警鐘台は何基ですか。また、腐食及び損傷が見受けられ暴風及び積雪等で倒壊の危険性はありませんか。

### 警鐘台は安全か



町民グラウンドの夜間照明灯

### 警鐘台の今後の方向性は

現在はサイレンが用いられています。災害時の停電等を考慮し警鐘台は今後も必要と考えますが、無居住地の警鐘台の管理は。

今後の警鐘台のあり方については、各地区の状況に対応して、地区のみなさんの意見をお聞きしながら、現状のまま残すのか、代わりの方法に切り替えていくのかを判断していきます。

### 町民グラウンドの夜間照明灯の安全性と今後の方向性は

設置されて30年が経過しますが、利用者数は。また、重量構造物であり完全性と今後の方向性は。

利用者数は、直近3か年平均で1400人から1600人台です。照明灯の危険な損傷は見当たりませんが、腐食が全般的に進んで

いますので、今後とも広く町民のみなさんに利用していただくために、塗装を直すことが必要と考えられています。

### 統合小学校は外観より中身の充実を

町民に基本設計の十分な説明が必要と考えますが。また、地元産材を使用して地域活性化を図るために十分な時間が必要と考えますが。

21名で構成する検討委員会の設置、一般町民を対象とした説明検討会の開催、町報での広報、役場庁舎等への掲示を行い周知したいと考えています。

地元産材を使用したいと考えていますが、用材の指定、事前発注が可能ななどの問題もあり、今後さらに検討していきます。



統合小学校基本設計検討委員会

# 議会のうごき

## 臨時議会

■ 4月23日（第2回）

◎農業委員会委員の推薦  
（全員賛成）

議会推薦として、渋谷雄三郎議員を推薦しました。

◎国民健康保険条例の一部改正（全員賛成）

診療報酬の改定（※）に伴い、規定を整備し、町長が専決処分したのを承認しました。

◎農村地域工業等導入地区固定資産税課税免除条例の一部改正（全員賛成）

この条例は、海味及び古川地区において生産設備等を新增設した方の固定資産税を免除することにより工業等の導入の促進を図ることを目的としていますが、適用期間を平成21年12月31日まで延長しました。

◎手数料条例の一部改正  
（全員賛成）

戸籍法の改正に伴い、規定を整備しました。

## 常任委員会

総務厚生常任委員会

■ 6月11日

◎常任委員会合同行政視察  
研修

長野県下條村の若者定住促進策の取り組み状況を研修することについて協議しました。

◎今後の常任委員会の活動  
計画

町立病院の経営状況と今後の課題について調査することを決定しました。

■ 6月26日

町立病院の経営状況と今後の課題について、病院長、

事務長及び総看護師長の説明を受けながら調査しました。

産業建設常任委員会

■ 6月11日

◎常任委員会合同行政視察  
研修

長野県高森町まちづくり振興公社の運営状況を研修することについて協議しました。

◎今後の常任委員会の活動  
計画

町の農林業の現状と今後の課題について、さがえ西村山農協西川支所及び西村山地方森林組合と合同で調査することを決定しました。

広報公聴常任委員会

■ 6月12日

■ 6月26日

■ 7月4日

■ 7月7日

◎にしかわ議会だよりの編集

第65号の編集を行いました。

## 議会運営委員会

■ 4月2日

農業委員会委員の推薦について、議会議員の中から推薦することとし、その人選等のための議会全員協議会を4月11日に開催することを決定しました。

■ 4月11日

第2回臨時会（4月23日）の運営について決定しました。

■ 6月4日

第2回定例会（6月11日～13日）の運営について決定しました。

## 全員協議会

■ 4月11日

◎農業委員会委員の推薦

農業を取り巻く状況が厳しい中で、農業委員会と議会が一体となって農業振興策を図っていくために、議会議員の中から推薦することとし、その人選について協議しました。

■ 5月19日

◎統合小学校建設にかかる今後の進め方

統合小学校建設にかかる基本構想、基本計画及び平成24年度開校までの予定について町から説明がありました。

本年度は、広く町民のみなさんの意見を取り入れながら基本設計を8月までに、実施設計を12月までにまとめ、敷地の造成工事も8月には着工される予定です。また、本年度中に、統合小学校の校名が決定され、教育課程も作成される予定です。



◎平成21年度西村山地方  
開発重要事業要望

県知事に要望する本町の  
事業について町から説明が  
ありました。

要望事業は、統合小学校  
建設の促進や吉川地域にお  
ける用排水路の整備促進、  
県道及び町道の整備促進等  
11事業からなっています。

■6月11日

◎第17期西川町総合開発  
(株)の経営状況

西川町総合開発(株)の落合

春信統括本部長から報告が  
ありました。

経営状況については、3  
ページをご覧ください。

◎第2期(株)米月山の経営状  
況

(株)米月山の鈴木利治代表  
取締役専務から報告があり  
ました。

経営状況については、3  
ページをご覧ください。

議会議員研修会

5月27日、役場で議会  
議員研修会を行いました。

研修会では、地方議会連  
営(発言)と議会の活性化  
について、県町村議会議長  
会の武田裕樹事務局長から  
講演していただきました。

武田事務局長は「議会は  
町のいろいろな案件を最終  
的に決める議決機関であり、  
議員は町全体の利益を考え  
発言しなければなりません。  
発言として通常考えられる  
のは質疑や質問ですが、  
議題となった案件を対象に  
疑問点のみを述べるのが質



議会議員研修会

疑で、町の事務全般を対象  
に行うのが質問です。いず  
れも町民のみなさんがわか  
りやすい言葉で発言するこ  
とが大事です。」と話され  
ました。

町村議会広報研修会

県町村議会議長会主催の  
第25回町村議会広報研修  
会が5月30日、山形国際  
交流プラザ(ビックウイン  
グ)で開催され、広報公聴  
常任委員が参加しました。

地方分権が進んでいる一  
方で、全国的に議会議員の  
定数が削減され、住民との  
協働型議会が求められてい  
る中であって、正確かつ読  
みやすい情報の提供は欠か



町村議会広報研修会

せないものとなっています。  
研修会では、そのための議  
会だよりの編集のポイント  
について話がありました。

用語の説明

※1 診療報酬の改定

医師の診療行為や調剤  
等に対して国民健康保険  
や健康保険等の医療保険  
から支払われる報酬を改  
定すること。物価や人件  
費等の変動に合わせて2  
年に1度、改定されてい  
ます。改正案は、厚生労  
働大臣の諮問機関の中央  
社会保険医療協議会でま  
とめます。

栄えある勲章

一元議会議員の後藤武志さん(海  
味)が地方自治功労が認められ、  
旭日単光章を受章されました。  
後藤さんは、昭和53年4月  
から平成7年4月までの5期17  
年にわたり議会議員を務められ、  
その間、厚生常任委員長、議会  
運営委員長等の重責を果たされ  
ました。  
叙勲は、6月定例会初日の6  
月11日、近松町長から伝達さ  
れました。



叙勲の伝達

# さくらんぼ栽培

50本を栽培

菅野 弘さん  
(海味・64歳)



果樹王国やまがたの象徴、さくらんぼ。さがえ西村山農協が主催する品評会において過去2回、バラ詰めの中で最優秀賞を受賞しました。

親父の代では、ナポレオンを中心にさくらんぼを栽培していました。主はりんご栽培でした。りんご栽培では収入が秋のみで、中間的に収入を得られるものとして、親父から経営を引き継いでから独学で佐藤錦を中心にさくらんぼ栽培を始め、いまでは木の本数を倍以上に増やしました。木一本で水田1反歩以上の収入があります。家内と二人で芽かきや着色を良くするために葉をゴムで束ねて日が当たるようにする作業、そして収穫作業を行っています。お客様は関東地方の方が中心ですが、品質さえ良ければ安心して買い求めてくれますね。

リフトにコンテナを積んで収穫するので、作業は効率的になりました。また、木から雪が滑り落ちるので雪折れは少ないようです。

しかし、ハウスの雨樋やパイプの管理が大変です。最近ではハクビシンが出没するようになり、ハウスに網を張らないと一晩で一本の木すべてを食べ尽します。この網を張るのがもっとも重労働ですね。

温暖化の影響で、里よりも山手の方が色彩が鮮やかな感じがします。さらに砂地よりも私の畑のように壁土の方が甘味が増すようです。これからは、7月の中元の時期に出荷できる紅秀峰の栽培に力を入れていく予定です。紅秀峰は粒が大きく適度な硬さが保たれるので人気急上昇中です。

加入している西川町さくらんぼ組合で月山ブランドに認証されたこともあり、生涯現役農業をめざしてがんばります。当面は冒頭の品評会のパック詰めの中で最優秀賞を受賞するのが目標です。



65号の紙

本物の

力士がきた〜



6月15日に開催された睦合小学校の「学童相撲70周年記念大会」平成24年度に統合小学校が開校することから

記念大会は今回が最後になります。そこで、児童にとって生涯の思い出となるような大会にしようと地区民が中心となり、大相撲の佐渡ヶ嶽親方（元関脇・琴ノ若）と夏場所幕内最高優勝の大関・琴歐洲関を招きました。児童たちは「でっかい」と驚きながらも、盛んに大関の胸を借りていました。

## 議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

次回定例会は  
9月招集です

## 編集後記

「究める・人」シリーズも今回で5回目になりました。專業として永年一筋に努力され、奥様の協力をえてがんばって今日に至った方々です。高度な技術の維持と名高い生産地ブランド以上の優れた品質を生産されて、高い評価を受けておられるなど、地元でも山菜だけでなく、認知度を広める必要があります。

議会も昨年から一問一答方式と議長承認による町執行部の反問権を導入し、わかりやすい議会をめざしていますが、議会としてもっと「究める」努力が必要です。

(井場榮治)

### 《発行・編集責任者》

議長 黒坂 久一

### 《編集委員》

委員長 井場 榮治  
副委員長 池上 博  
委員 宮林 昌弘  
青山 知教